

ドライブ レコーダー DRIVE RECORDER CS-361FHT[®]

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本体からDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1)をおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2021-2022 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSDTMはSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。



STARVISおよび **STARVIS** はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	8
GPSユニットについて	8
ディスプレイについて	8
ナイトクリア ver.2について	8
付属のコードについて	8
アイドリングストップ車での使用について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
本体/付属品	10
付属品	10
オプション品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
別体カメラ	13

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体と別体カメラの取り付け場所（推奨）	14
フロントガラスに本機を設置する場合	15
フロントガラスへの取り付け位置（正面）	15
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	15
フロントガラスへの取り付け	16
マウントベースから本体を取りはずす場合	17
マウントベースのボールジョイントを交換する場合	17
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	18
取り付け位置（正面）	18
取り付け位置（側面）	19
リヤガラスへの取り付け	20
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合	21
取り付け位置（側面）	21
本体と別体カメラを接続	22
接続方法	22
別体カメラの設定	22
ヒューズボックスから電源を取る場合	23
ACC線から直接電源を取る場合	23
microSDカードの挿入および取り出し	24
microSDカードの挿入	24
microSDカードの取り出し	25

基本操作

製品の使用方法	26
電源のON/OFF	26
エラーメッセージ	27
ディスプレイ	28
カメラ表示切りかえ	29
音量調整	29
録画方法	30
録画モードについて	30
クイック録画機能（手動）	31
撮影モードについて	31
パーキングモードについて	32
常時電源コードの設定	33
パーキングモードの録画モード設定	34
パーキングモードの動作LED	35
パーキングモードの動作	35

各種設定

各種設定の変更	36
設定の変更方法（例：アイコン表示）	36
設定一覧	37
設定一覧（つづき）	38
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	39
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	39
画像モード設定	40
その他の機能	41
再生モード	41
日時の設定	42
GPS測位について	42
GPSおしらせ機能	43
MyCellstarについて	44
パソコンでGPSデータをダウンロード	44
GPSデータ更新	46
GPSデータの版数確認	46
フォーマット	47
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）	48
システムリセット	48
強制初期化（強制フォーマット）	48
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	49
専用ビューアソフトの動作環境	49

困ったときは

故障かな？と思ったら	50
------------	----

その他

製品の仕様	51
microSDカードのデータについて	53

アフターサービス

アフターサービスについて	54
修理に関して	54
修理受付票	55

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



警告



本機の取り付けは、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態でおこなってください。

* 感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

⚠ 警告

- ⚠ 本体および別体カメラは、ガラス面またはリヤトレイなどに正しく取り付けてください。
- * ガラス面またはリヤトレイなどをきれいに拭いたあと、本体および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本体および別体カメラがガラス面またはリヤトレイなどからはずれ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

⚠ 注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分がかかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさがかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
- ⚠ ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘ 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
-  録画画質設定の変更や microSD カードの状態によっては、フォーマットが必要になります。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間（約1年）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本機の電源が OFF になっていることを確認してから取りはずしてください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
-  ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
microSD カード 8GB ～ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠）、64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠）
その他、スピードクラスとして下記以上を推奨
SD スピード Class : Class10
 - * 弊社オプション microSD カード推奨

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、車を停止し、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 車内カメラは赤外線LEDにより、被写体によっては、赤みが強く録画される場合があります。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。【▶P14】
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本体および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはリヤトレイなどの油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- 設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。
このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- * 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- * 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- * パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-41）を使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。（12V設定推奨）パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・車両バッテリーあがりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。

GPSユニットについて

- ・GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- ・前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- ・自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- ・録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- ・取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いいためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ディスプレイについて

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

ナイトクリア ver.2について

- ・STARVIS™ IMX307搭載。STARVIS（スタービス）は、 $1\mu\text{m}^2$ あたり、2000mV以上（カラー品、706cd/m²光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算）の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用 裏面照射型画素技術です。
- ・走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。【⇒P37】

付属のコードについて

- ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ/2A）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。
- ・付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

GPSおしらせ機能について

- GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfrm/download_viewer.php)

カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

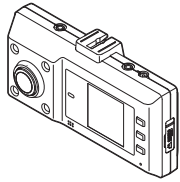
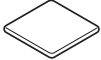
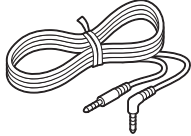
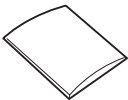
- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【→P25】
- パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- microSDカードはwindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

本体/付属品

付属品

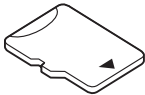
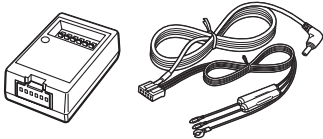
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。

☐ ドライブレコーダー本体 	☐ 本体用マウントベース (GPS ユニット) * あらかじめ両面テープが貼られています。 	☐ 本体用ボールジョイント (ストレート) 	☐ 別体カメラ 
☐ 別体カメラ用マウントベース 	☐ 別体カメラ用ボールジョイント (ストレート) 	☐ 別体カメラ用両面テープ (ガラス用)  色：黒	☐ 別体カメラ用両面テープ  色：グレー
☐ カメラ接続コード  コード長：9.0m	☐ 直結配線 DC コード (3 極 DC プラグ / 2A)  コード長：5.0m	☐ 脱脂クリーナー 	☐ microSD カード (64GB) * SD カード変換アダプタ、SD カードケース付属 * 本体の microSD カードスロットに挿入されています。 
☐ コードクリップ×5 	☐ 取扱説明書 (本書) 		

オプション品

別途お買い求めください。

品名	使用目的／仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、セルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: GDO-SD8G1 16GB: GDO-SD16G1 32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1
常時電源コード (3 極 DC プラグ /2A) 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。 [⇒ P32] * コード、両面テープ、コードクリップが付属しています。	GDO-41 コード長: 5.0m
DC コード (3 極 DC プラグ /2A) 	車両のアクセサリソケットから電源を入力する場合に使用します。	GDO-43 コード長: 4.5m



本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

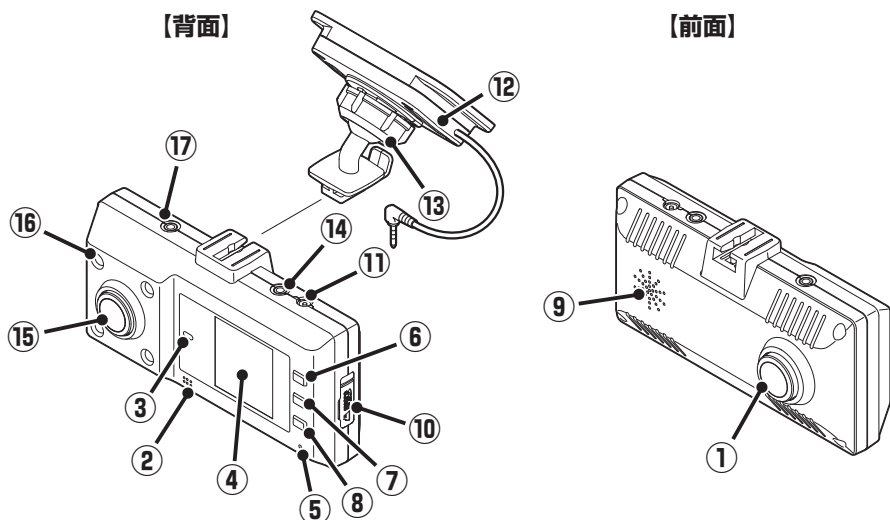
困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能

本体



① 車外撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ 動作LED

本機の動作状態を表示します。

④ ディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ ▲ボタン

メニューの移動や再生モードに使用します。
[→ P41]

⑦ ENTボタン

モードの切りかえやメニューの決定に使用します。

⑧ ▼ボタン

メニューの移動やクイック録画に使用します。
[→ P31]

⑨ スピーカー

音声出力します。(モノラル)

⑩ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑪ 12V/24Vソケット (DCIN)

専用の DC コード (3 極プラグ) を接続し、
DC12V/24V を本機に入力します。

⑫ マウントベース (GPSユニット)

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

⑬ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

⑭ GPSソケット (GPS)

GPS ユニットを接続します。

⑮ 車内撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

⑯ 赤外線LED×4

夜間でも鮮明に車内を撮影できます。

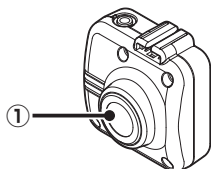
*赤外線 LED の点灯、消灯設定は P38 を参照してください。

⑰ 別体カメラソケット (CAM)

付属の別体カメラを接続します。

別体カメラ

【前面】



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② 別体カメラ用マウントベース

別体カメラ用両面テープ（ガラス用）でリヤガラスに取り付けます。

*リヤトレイに取り付ける場合、マウントベースを別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に変更し、別体カメラ用両面テープで取り付けます。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

付属のカメラ接続コードで本体の別体カメラソケット（CAM）に接続します。

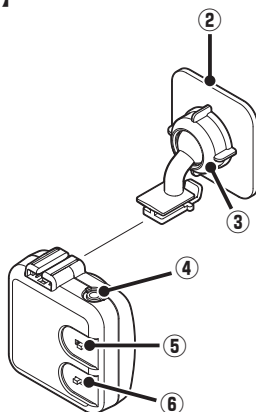
⑤ 上下切りかえスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。【⇒ P22】

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。【⇒ P22】

【背面】



取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

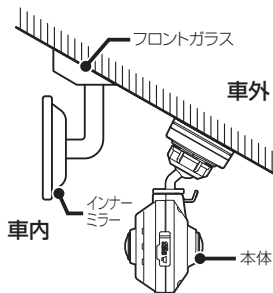
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ/2A）以外のコードを使用しないでください。
- 本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機はマウントベース（GPSユニット）で上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。マウントベース（GPSユニット）の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機がはずれる場合がございます。ガラス面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

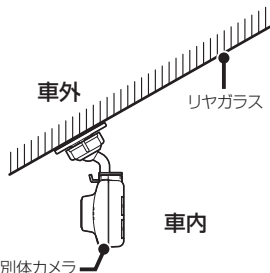
本体と別体カメラの取り付け場所（推奨）

■ 本体をフロントガラスに取り付ける場合



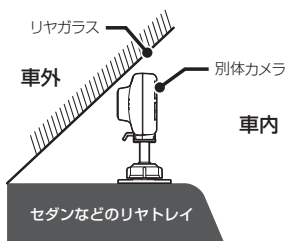
[→P15]

■ 別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合



[→P18]

■ 別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

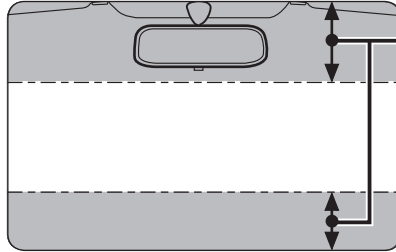


[→P21]

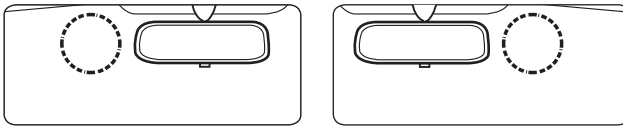
フロントガラスに本機を設置する場合

フロントガラスへの取り付け位置（正面）

フロントガラス



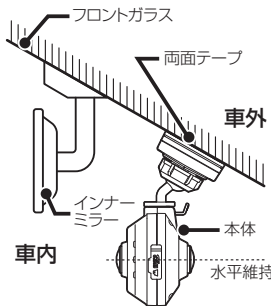
フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内またはフロントガラス
下部から150mm以内に
取り付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して
インナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

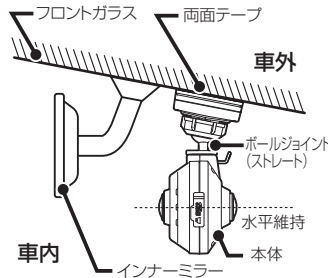
フロントガラスへの取り付け位置（側面）

■ 一般的な乗用車

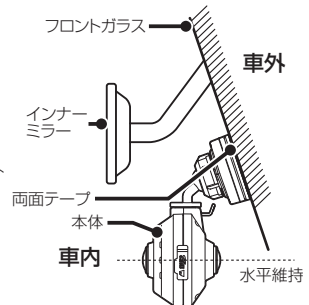


■ フロントガラスが寝ている車

* 本体用ボールジョイント(ストレート)に交換
します。



■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前後のカメラを遮ることがないように取り付けてください。
- 図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

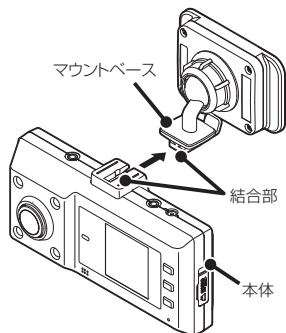
困ったときは

その他

アフター
サービス

フロントガラスへの取り付け

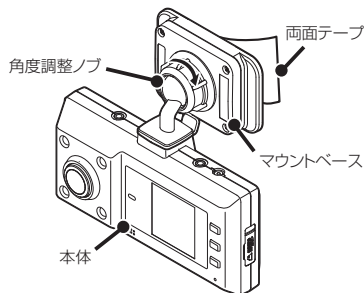
- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



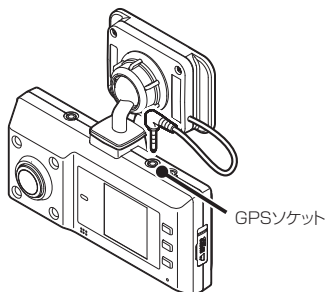
- 2 あらかじめ貼られている両面テープを使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわして本体を固定する。
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

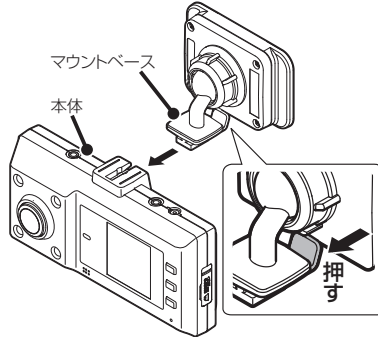


- 4 GPSユニットのコードを本体のGPSソケットに接続する。



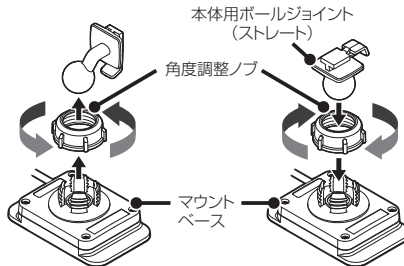
マウントベースから本体を取りはずす場合

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはずします。



マウントベースのボールジョイントを交換する場合

マウントベースから角度調整ノブをはずし、本体用ボールジョイント（ストレート）に付けかえます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

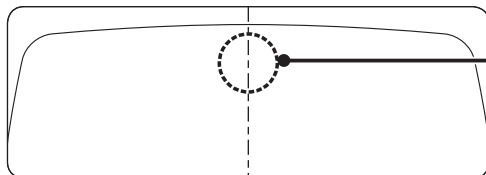
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

* セダンなどのリヤトレイに取り付けることもできます。【→P21】

取り付け位置（正面）

図のように別体カメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。

リヤガラス



リヤガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

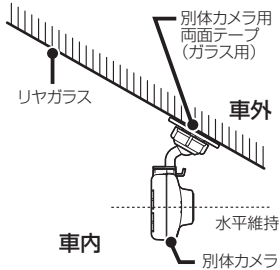
⚠ 注意 リヤガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

取り付け位置（側面）

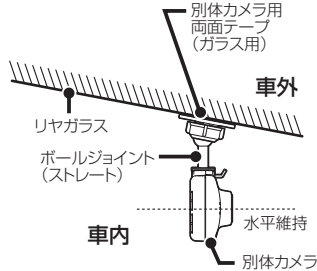
- 図のように別体カメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 図のように別体カメラが水平を維持するように調整してください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

■ 一般的な乗用車

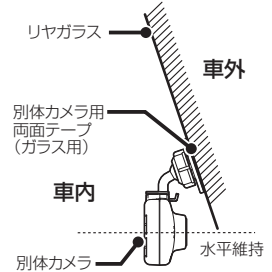


■ リヤガラスが寝ている車

* 別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に交換します。



■ ワンボックスやトラックなど



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

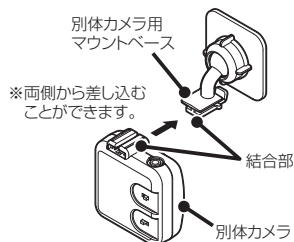
困ったときは

その他

アフターサービス

リヤガラスへの取り付け

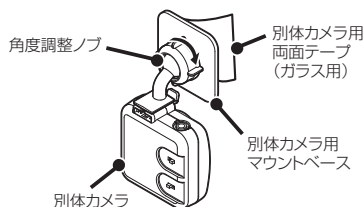
- 1 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 2 別体カメラ用両面テープ（ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、熱線 avoiding して取り付けてください。

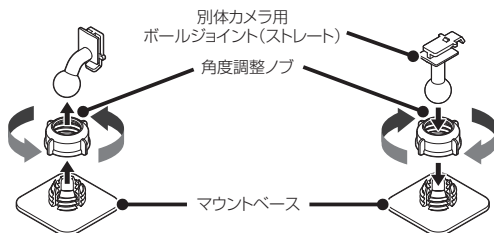
- 3 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
* 別体カメラの上下切りかえスイッチを↑、正像鏡像切りかえスイッチをN（正像）に変更してください。【→P22】

別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

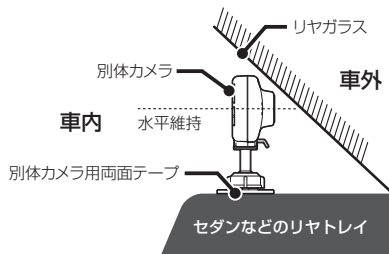
別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブをはずし、別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に付けかえます。



* 先に別体カメラ用ボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置（側面）

図のように別体カメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。



* 別体カメラの上下切りかえスイッチを↓、正像鏡像切りかえスイッチをN（正像）に変更してください。【▶P22】

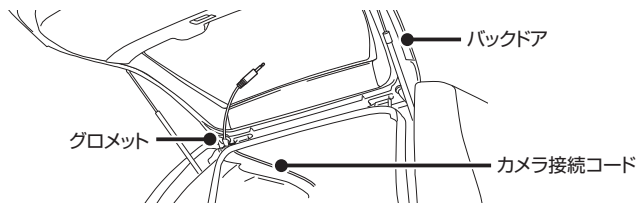
⚠ 注意 リヤトレイに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

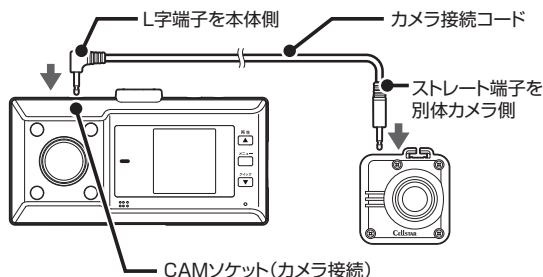
本体と別体カメラを接続

接続方法

- 1 別体カメラに接続するカメラ接続用コードを配線する。
バックドアがある車は、カメラ接続コードをグローメット内に通して配線してください。



- 2 カメラ接続コードで本体と別体カメラを接続する。



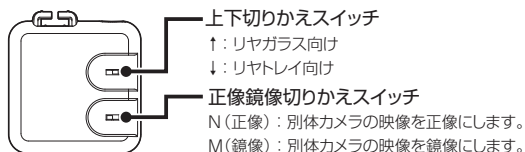
⚠ 注意

- ・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- ・別体カメラが未接続の場合、画面上部に「NO CAM」と表示されます。カメラ接続コードの配線を確認してください。
- ・付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

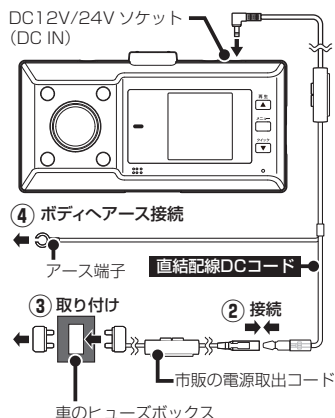
■ 推奨設定



ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード (平型ヒューズタイプなど) を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ (アクセサリソケット、ラジオなど) を探す
- 2 直結配線DCコードと電源取出コードを接続する
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む
- 4 直結配線DCコードのアース端子を車のボディに接続する



✓ アドバイス

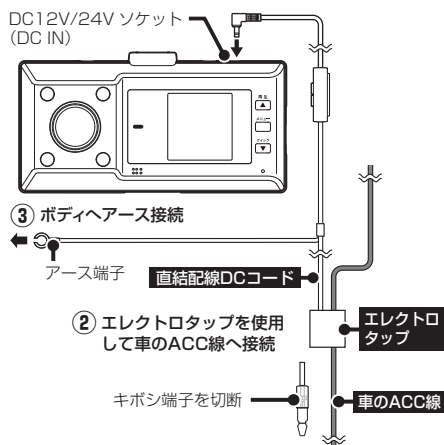
パワー (イグニッション) スイッチを入れて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- ・コード類の接続
- ・車、またはDCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに12Vもしくは24V、オフにしたときに0VになるACC線を探す
- 2 直結配線DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップを使用して車のACC線へ接続する
- 3 直結配線DCコードのアース端子を車のボディに接続する



⚠ 注意

アース端子接続

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント (コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ (タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作 (上下) する金属部分

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

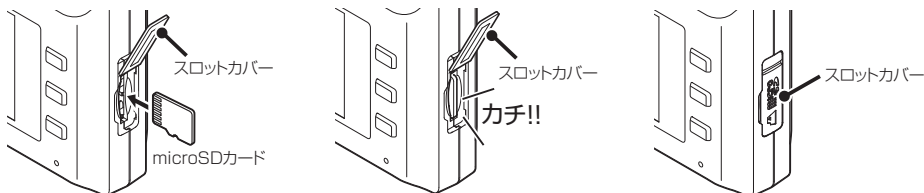
⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- ・ microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- ・ microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- ・ microSDカードを取り出すときは、車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにして、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。
- ・ その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- ・ microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- ・ microSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ・ 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。フォーマットをおこなってください。
- ・ microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- ・ パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- ・ 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

microSDカードの挿入

＊ 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



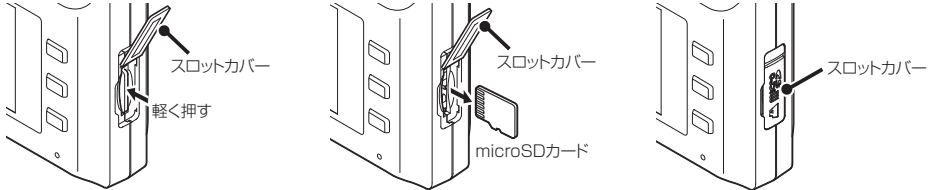
- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに挿入する。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に挿入したことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- ・ microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- ・ microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- ・ microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除したりmicroSDカードがこわれる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF

基本操作



■電源のON

本機には電源ボタンがありません。

車のパワー（イグニッション）スイッチをオンにすると、本機の電源がONになり、効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。【➡P30】

* 本機の電源がONにならない場合、「故障かな？と思ったら」を参照してください。
【➡P50】

■電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをオフにすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作LEDが消灯し、効果音（♪ピ）のあと、自動的に電源がOFFになります。

* スーパーキャパシタ：蓄電能力を持つコンデンサ。高温に強く安全性が高い

エラーメッセージ

SDカード認証エラー
SDカード未挿入、
未フォーマット、
破損等の異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカードを認識しません）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

* フォーマットしても本機の画面に「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

SDカードのファイルシステム
又はアロケーションサイズが
違います。フォーマットしますか？
（フォーマットすると
データは全て消去されます。）

■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

* 「ENT」ボタンを押すと確認画面に切りかわります。再度「ENT」ボタンを押します。

カメラに異常が
あります。
カスタマーサービス
迄ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音が出力され、本機の画面に左のエラーを表示します。

* 本機の画面に「カメラに異常があります」を表示した場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

SDカードエラー
SDカードに
異常があります。
SDを交換して
ください。

■ microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

ディスプレイ

本機の電源がONになると常時録画を開始し、次の画面を表示します。

ENTボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

*再生する場合は「再生モード」【➡P41】、設定メニューの変更は「設定の変更方法」【➡P36～P39】をご覧ください。

*工場出荷時の表示状態となります。



ENTボタンを長押しすると、ディスプレイに表示される映像が切りかわります。

【➡P29】

■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
	常時録画の状態
① 録画モード	イベント録画の状態
	クイック録画の状態
② GPS	GPSユニットを接続してGPSを測位するとアイコンが表示されます。
	パーキングモードがオン時にアイコンが表示されます。
③ パーキングモードアイコン	パーキングモードのイベント録画ファイルが記録されています。
	パーキングモードのモーション録画ファイルが記録されています。
	パーキングモードのイベントとモーション録画ファイルが記録されています。

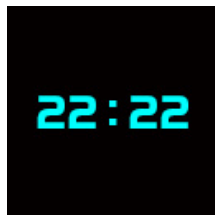
* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。【➡P38】

* インポーズ記録をオンにすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、GPSユニット接続時、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます。【➡P37】

* 別体カメラが未接続の場合、画面上部に「NO CAM」と表示されます。カメラ接続コードの配線を確認してください。

設定メニューの「画面表示」で時計に設定し、表示することができます。【➡P38】

* カメラ映像を表示していない場合も録画されます。



時計



オフまたはオールオフ

カメラ表示切りかえ

ENTボタンを長押しすると、ディスプレイに表示される映像が切りかわります。工場出荷時、車外+車内カメラ

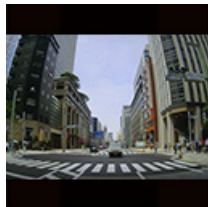
① 車外カメラ



② 車内カメラ



③ 別体カメラ



④ 車外+車内カメラ



⑤ 車外+別体カメラ



⑥ 車内+車外カメラ



⑦ 車内+別体カメラ



⑧ 別体+車外カメラ

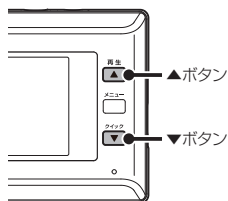


⑨ 別体+車内カメラ



音量調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



音量を大きくする：▲ボタン長押し

音量を小さくする：▼ボタン長押し

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

録画方法

録画モードについて

本機の電源がONになると、自動的に常時録画が開始されます。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。【→P30】

*記録中の音声を録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。【→P37】

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。常時録画中、動作LEDは緑色点滅（1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す）し、1分単位で録画し続けます。



*パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって1ファイルの録画時間が変動します。

■ イベント録画モード（自動）/クイック録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画モードに戻ります。



*常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度」で調整することができます。【→P37】
- * 車や運転の状態など様々な要因により、常時録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の80%）、イベント録画（microSDカード総容量の15%）で分割管理されています。
- * 記録映像は、Windowsメディアプレーヤーなど専用ビューアソフト以外でも映像を再生できます。
- * 録画モードでイベント録画（クイック録画）をおこなっている最中は、ボタンの操作を受け付けません。ボタンの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故など発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。*蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.MP4	microSD カード総容量の 80% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
	└ 1: 車外 / 車内カメラ映像	パーキングモード : PNF_****.MP4	
	└ 2: 別体カメラ映像	パーキングモード (モーション) : PMF_****.MP4	
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.MP4	microSD カード総容量の 15% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
	└ 1: 車外 / 車内カメラ映像	パーキングモード : PEF_****.MP4	
	└ 2: 別体カメラ映像		

* ファイル名の**** には、年月日・時分秒・インデックス_カメラ映像番号（1：車外/車内カメラ映像、2：別体カメラ映像）が入ります。
例：210101-101010-000001_1は、2021年1月1日10時10分10秒 インデックス00001車外/車内カメラ映像です。

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像は microSD カードの [EVENT] フォルダに保存されます。

- * 録画映像は、クイック録画を実行した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

1 本機の動作中に▼ボタンを押す。(1秒以内)



効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（クイック録画を開始します）を出力し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。クイック録画終了後、常時録画モードに戻ります。

撮影モードについて

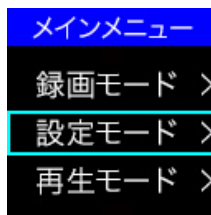
静止画を手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPG ファイル）は microSD カードの [CAPTURE] フォルダに保存されます。

- * microSD カード総容量の3%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画（JPG ファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどで microSD カードから参照してください。

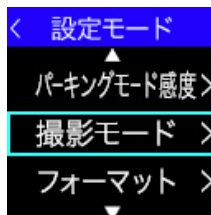
1 本機の動作中、ENTボタンを押してメインメニューを表示する。



2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、ENTボタンを押す。



3 ▲▼ボタンで【撮影モード】を選び、ENTボタンを押す。



4 撮影モードになります。

ENTボタンを短押しすると車外カメラと車内カメラ、別体カメラの映像が静止画として保存されます。ENTボタンを長押しすると、撮影機能を終了します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

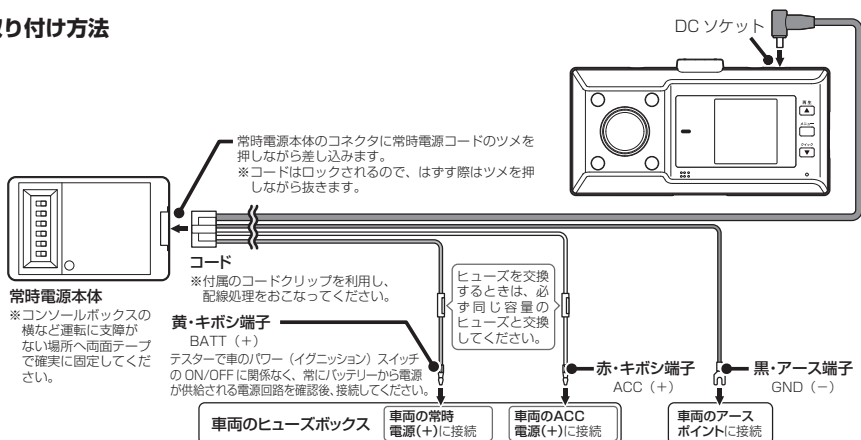
パーキングモードについて

オプションの常時電源コード（GDO-41）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時、モーション、常時＋イベント、モーション＋イベントから選択できます。パーキングモードは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから約6秒後画面が消え、パーキングモードを開始します。パーキングモード中の動作LED **【→P35】** パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONになると約6秒後にパーキングモードが解除され、常時録画になります。

⚠ 警告

- ・パーキングモードでは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-41）を使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。

■ 取り付け方法



- ※ オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFのときに接続してください。
- ※ 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

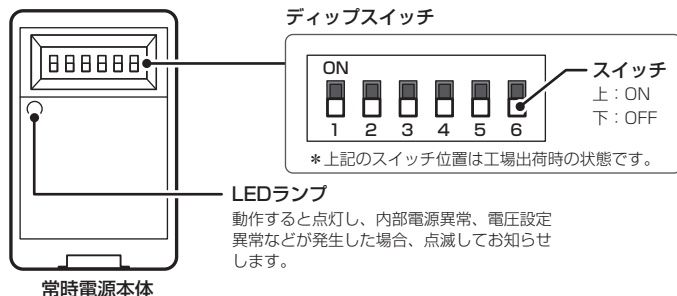
パーキングモードの録画仕様について

画像	D1（車外カメラ / 車内カメラ / 別体カメラ）
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

- ※ パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源本体のディップスイッチの設定で動作します。**【→P33】**
- ※ カメラ接続コードがはずれたなど、別体カメラを認識していない場合、車外カメラ/車内カメラだけで録画します。

常時電源コードの設定

オプションの常時電源コード (GDO-41) は、常時電源本体のディップスイッチにて設定します。



先の細かいもので
スイッチのON/OFFを
切りかえてください。



■ パーキングモードの時間設定

【スイッチ1～3】タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給がオフになります。

※パーキングモードを使用しないときは、電源供給する時間を「0時間」に設定してください。



■ 12V車の電圧設定

【スイッチ4】12V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



■ 24V車の電圧設定

【スイッチ4】24V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

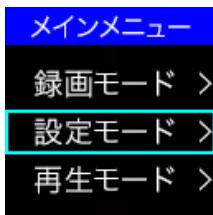
困ったときは

その他

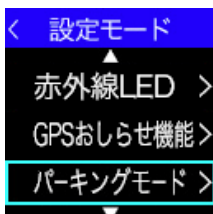
アフター
サービス

パーキングモードの録画モード設定

* 常時電源コード未接続時は、パーキングモードの設定は表示されません。

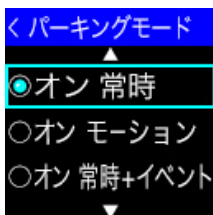


1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。



2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。

3 ▲▼ボタンで【パーキングモード】を選び、**ENTボタン**を押す。



4 録画モードを選択し、**ENTボタン**を押す。

* 録画モードの詳細について 【→P30】

設定を終了して録画モードにもどる場合は、ENTボタンを長押しします。



常時電源コードが接続されると、画面に「パーキングモード」のアイコンを表示します。

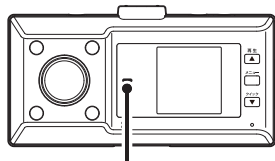
* パーキングモードのアイコンは、設定したパーキングモードの録画モードにより異なります。【→P28】

パーキングモードの録画モード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。（古いファイルは消去されます。） * 常時録画は [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。 * 常時録画は [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録し、イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。

* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって 1 ファイルの録画時間が変動します。

パーキングモードの動作LED



動作LED

常時録画	遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す）
モーション録画	検知：遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す） 待機中：遅い2回緑色点滅 （2秒間に点灯と消灯を2回おこなった後2秒消灯を繰り返す）
イベント録画	速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）

パーキングモードの動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作LEDの緑色点滅（上記の表参照）で表示します。

パーキングモードの動作中、クイックボタンを押すと動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）し、クイック録画をおこないます。録画後、常時録画に戻ります。

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に効果音（♪ビポピン）とボイスアシスト（録画ファイルがあります）を出力し、パーキングモードアイコンが変化します。次回起動時、アイコンは元に戻ります。



「パーキングモード」のアイコン

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

P Ev microSDカードのEVENTフォルダに保存されます。

パーキングモードの動作中にモーション録画を記録した場合

P Mo microSDカードのINFINITEフォルダに保存されます。

パーキングモードの動作中にイベント録画とモーション録画を記録した場合

P Ev Mo microSDカードのINFINITEフォルダに保存されます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン表示）

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

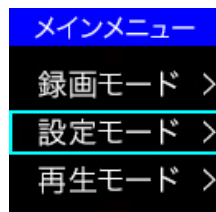
専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

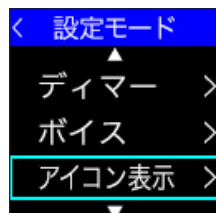
* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。



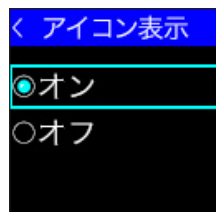
1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。



2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。



3 ▲▼ボタンを押して変更する設定メニュー（例：アイコン表示）を選び、**ENTボタン**を押す。



4 ▲▼ボタンを押して変更したい設定項目を選び、**ENTボタン**を押す。

5 引き続き他の設定を変更する場合は、▲または▼ボタンを長押しして一つ上のメニューにもどる。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、ENTボタンを長押しします。

設定一覧

- * 設定値は初期設定のものです。
 * 1 GPSユニット（マウントベース）接続時、設定できます。

メインメニュー	設定値	設定項目
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。[→ P39]
		* 車外カメラ、車内カメラ、別体カメラは同じ設定となります。
カメラ表示	車外カメラ+車内カメラ	車外カメラ : 車外カメラをメインで表示します。 車内カメラ : 車内カメラをメインで表示します。 別体カメラ : 別体カメラをメインで表示します。 車外カメラ+車内カメラ : 車外カメラをメイン、車内カメラを小窓で表示します。 車外カメラ+別体カメラ : 車外カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 車内カメラ+車外カメラ : 車内カメラをメイン、車外カメラを小窓で表示します。 車内カメラ+別体カメラ : 車内カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 別体カメラ+車外カメラ : 別体カメラをメイン、車外カメラを小窓で表示します。 別体カメラ+車内カメラ : 別体カメラをメイン、車内カメラを小窓で表示します。
車外カメラ設定		ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリア : ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 : STARVISにより、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正は おこないません。
車内カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	HDR ナイトクリア 1 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（小）です。
別体カメラ設定		HDR ナイトクリア 2 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（中）です。
		HDR ナイトクリア 3 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（大）です。
録画モード	オン 常時+イベント	常時 : 常時録画（1分単位）します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
3G センサー感度	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
		6
		5
		4
		3
		2
		1 : 3G センサーを低感度に設定します。
		カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。[→ P39]
音声録音	オン	オン オフ
インボース記録 * 1	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。
		オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。
位置情報取得 * 1	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。
		オフ : GPS から位置情報を取得しません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

設定一覧 (つづき)

- * 設定値は初期設定のものです。
 * 1 オプションの常時電源コード接続時、設定できます。
 * 2 GPSユニット (マウントベース) 接続時はGPSから日時情報を取得するので設定できません。

メインメニュー	設定値	設定項目
画面表示	オン	オン : カメラ映像を表示します。 オフ : 画面表示しません。 時計 : ディスプレイに時計を表示します。 オールオフ : 画面、LED、ボイスをオフにします。* 赤外線 LED は消灯しません。
画面明るさ	3	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 ↓ 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。 * ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。
赤外線 LED	オン ディマー	オン ディマー : 4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00 赤外線 LED を点灯します。 オン 常時 : 常時赤外線 LED を点灯します。 オフ : 赤外線 LED を消灯します。 * GPS未測位時は赤外線LEDが点灯されます。
GPS おしらせ機能	小学校、中学校以外オン	取締機 : オービスなど速度取締機の設置ポイントをお知らせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。 ゾーン 30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域 (ゾーン 30) をお知らせします。 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 小学校 : 学校付近でお知らせします。 中学校 : 学校付近でお知らせします。 データ情報 : GPS データの版数を確認します。
パーキングモード * 1	オン 常時+イベント	オン 常時 オン 常時+イベント オン モーション オン モーション+イベント オフ
パーキングモード感度 * 1	6	10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ↓ 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。
撮影モード	—	撮影モードに切りかえます。
フォーマット	—	microSD カードのフォーマットをおこないます。【➡ P47】
日時 * 2	—	年 / 月 / 日 / 時 / 分

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD HD D1
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
		6
左右		5
		4
		3
		2
		1
上下		オフ : 3G センサーを低感度に設定します。 : 3G センサーをオフに設定します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

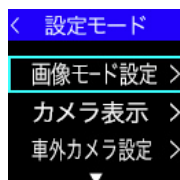
画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

* 車外カメラ、車内カメラ、別体カメラは同じ設定となります。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。



1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。

2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。

3 ▲▼ボタンで【画像モード設定】を選び、**ENTボタン**を押す。
「画像モード設定」画面に切りかわります。

4 ▲▼ボタンで設定したい画像モードを選び、**ENTボタン**を押す。

5 ▲または▼ボタンを長押しして設定を確認する。
ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。

6 **ENTボタン**を押す。

7 **ENTボタン**を押す。
* 録画データが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。

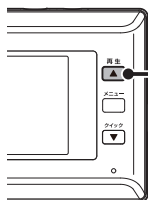
ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

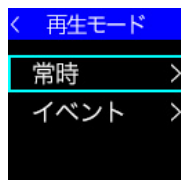
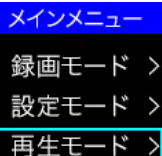
再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

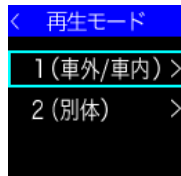
* 再生モード中は、録画できません。



- 1 本機の動作中、**▲ボタン**を押して（約1秒）、再生モードにする。
メインメニューから再生モードにすることもできます。



- 2 **▲▼ボタン**で【常時】または【イベント】を選び、**ENTボタン**を押す。
「再生ファイル」画面に切りかわります。



- 3 **▲▼ボタン**で【1 (車外カメラ/車内カメラ)】または【2 (別体カメラ)】を選び、**ENTボタン**を押す。



- 4 **▲▼ボタン**でファイルを選び、**ENTボタン**を押す。
再生ファイルが多い場合は、**▲▼ボタン**を押し、ページをスクロールさせます。

▲ボタン	長押し：一つ上のメニューにもどります。
ENT ボタン	短押し：再生を停止して、手順4にもどります。 長押し：録画状態にもどります。
▼ボタン	長押し：一つ上のメニューにもどります。

- * 再生ファイル名について 【➡P30】
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

日時の設定

日付および時間を設定することができます。

* GPSユニット（マウントベース）接続時は、GPSから日時情報を取得するので、日時の設定は必要ありません。



- 1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。
- 2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。
- 3 ▲または▼ボタンを押して【日時】を選び、**ENTボタン**を押す。
- 4 ▲または▼ボタンを押して現在の日付および時間を入力する。
▲/▼ボタン : 選択した日時のアップダウン
ENTボタン : 設定した日時の確定、移動

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するためには、付属のGPSユニット（マウントベース）を接続し、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると効果音（♪ピポピン）とボイスアシスト（GPSを測位しました）を出力し、GPSアイコンが表示されます。【➡P28】

✓ アドバイス

お問い合わせいただき、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。

超速 GPS について

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。
- * 自車位置で高速道、一般道の判定はしません。



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でおしらせします。

- * 初期設定はオン



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がわかります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がわかります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを500m手前でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を500m手前でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



小学校

学校付近でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



中学校

学校付近でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- ・ 付属のmicroSDカード
- * GPSデータ更新中にmicroSDカード内の録画データなどが消去する恐れがあります。事前にパソコンなどへ録画データをバックアップしてください。

■ パソコンの推奨環境

- ・ OS : Windows (8/10)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・ CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・ メモリ : 1GB以上
- ・ グラフィックメモリ : 256MB以上

■ スマートフォンの推奨環境

- ・ OS : Android 5.0
- * iOS、Android 4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- * Android 5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

- 1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



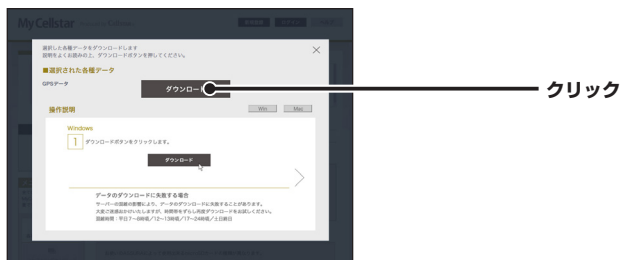
- 2 リストからCS-361FHTを選択し、保存をクリックする。



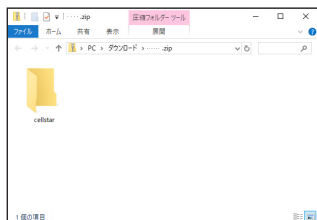
3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



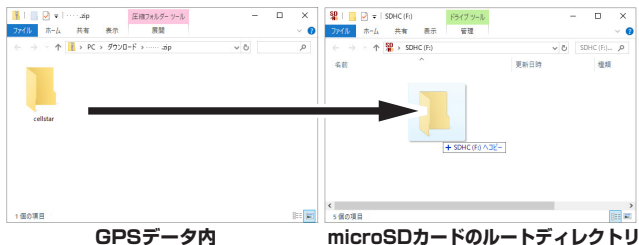
4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごと microSDカードにコピーする。



最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。【➡P43】
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp/>

- 1 本体からDCコードをはずし、電源を切る。
- 2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。【➡P24】
- 3 DCコードを接続して電源を入れる。
自動的にGPSデータが更新され、本機が再起動します。



GPSデータ更新中。
この画面が
消えるまで電源を
切らないでください。

GPSデータの版数確認

- 1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。
- 2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。
- 3 ▲または▼ボタンを押して【GPSおしらせ機能】を選び、**ENTボタン**を押す。
- 4 ▲または▼ボタンを押して【データ情報】を選び、**ENTボタン**を押す。



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

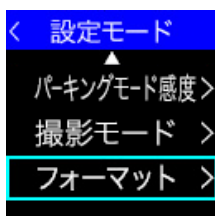
フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。

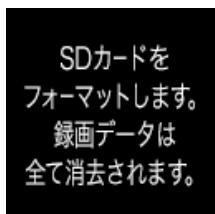
1 本機の動作中、**ENTボタン**を押してメインメニューを表示する。



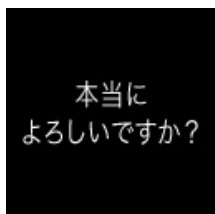
2 ▲▼ボタンで【設定モード】を選び、**ENTボタン**を押す。

3 ▲▼ボタンで、【フォーマット】を選び、**ENTボタン**を押す。

4 **ENTボタン**を押す。



5 **ENTボタン**を押す。



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

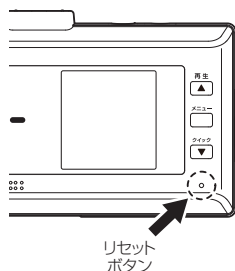
その他

アフターサービス

システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

システムリセット

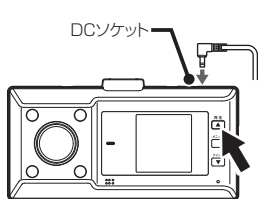


- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化（強制フォーマット）をおこなうと、microSDカードがフォーマットされ、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。【⇒P37～P39】

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 ▲ボタンを押しながらDCコードのプラグを接続し、電源を入れると、フォーマット動作に切りかわる。
- 3 フォーマットが実行される。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

CPU： Intel® Core™ i5 / i7 (Haswell 第4世代以上、Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz) /
AMD Ryzen™ 以上 (Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz以上)
* モバイル、低電力CPUは除外

GPU： Intel® HD Graphics 4500以上 /
AMD Radeon™ 第9世代 (HD6350) 以上 /
NVIDIA® GeForce™ 400 series (GT430) 以上

メモリ： 8GB 以上 / 16GB推奨

HDD： 4GB 以上

OS： Windows 8 / 10

その他： DirectX 9.0以上 / 11推奨

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	- microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P24
起動時間が長い	* microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	* microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取りかえてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P6 P24、P25
	* microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSD カードをフォーマットしてください。	P47
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 または直ぐに反応してしまう	* 「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P37
ひんばんにイベント録画される または録画されない	* 「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P37
画面を表示しない	* 画面がオフになっていませんか。	P37
再起動する	* 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	* GPSユニット接続時、日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	* 本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	* 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSD カードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、本機からDCコードをはずして、電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P25
設定が初期値にもどる	* 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 * 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 * microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。	P24

製品の仕様

■CS-361FHTの仕様

車外カメラ	撮像素子		200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート		30fps
	視野角		水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°
	F 値		2
	最低被写体照度		3LUX
	録画画素数		200 万画素 (FullHD) / 100 万画素 (HD) / 35 万画素 (D1)
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°	
	HD	水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°	
	D1	水平 182.9°、垂直 102.8°、対角 189°	
車内カメラ	撮像素子		200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート		30fps
	視野角		水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°
	F 値		2
	最低被写体照度		3LUX
	録画画素数		200 万画素 (FullHD) / 100 万画素 (HD) / 35 万画素 (D1)
	暗所撮影機能		赤外線 LED
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°	
	HD	水平 188.6°、垂直 102.8°、対角 190°	
	D1	水平 182.9°、垂直 102.8°、対角 189°	
別体カメラ	撮像素子		200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート		30fps
	視野角		水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°
	F 値		2
	最低被写体照度		3LUX
	録画画素数		200 万画素 (FullHD) / 100 万画素 (HD) / 35 万画素 (D1)
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°	
	HD	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°	
	D1	水平 94°、垂直 62.2°、対角 115°	
録画圧縮			録画 MP4 コンテナ形式 (H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ			常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画+イベント録画 / モーション録画+イベント録画 * パーキングモード時)

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の仕様（つづき）

GPS	有り
HDR	有り
3G センサー	有り（衝撃感度 10 段階）
対応外部記憶媒体	microSD カード 8GB ～ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠）、 64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠）、 その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 SD スピード Class : Class10 * 弊社オプション microSD カード推奨
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル
音声録音	有り（オン、オフ設定可）
外部映像出力	無し
インターネット地図連動	有り
電源電圧	DC12V/24V
動作温度範囲	-10℃ ～ +60℃
本体サイズ	110 (W) × 30 (D) × 54 (H) mm（突起部含まず） * マウントベース取り付け時 96 (H) mm
本体重量	123g
保証期間	3 年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。

■常時録画 撮影可能時間の目安

常時録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 16 分	約 20 分	約 24 分
	HD	約 28 分	約 40 分	約 61 分
	D1	約 67 分	約 91 分	約 140 分
16GB	FullHD	約 33 分	約 40 分	約 48 分
	HD	約 56 分	約 81 分	約 122 分
	D1	約 135 分	約 183 分	約 281 分
32GB	FullHD	約 66 分	約 81 分	約 97 分
	HD	約 112 分	約 162 分	約 244 分
	D1	約 271 分	約 366 分	約 563 分
64GB	FullHD	約 133 分	約 162 分	約 195 分
	HD	約 225 分	約 325 分	約 488 分
	D1	約 542 分	約 732 分	約 1126 分

■イベント録画 撮影可能時間の目安

イベント録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 4 分	約 5 分	約 6 分
	HD	約 8 分	約 11 分	約 16 分
	D1	約 16 分	約 21 分	約 26 分
16GB	FullHD	約 9 分	約 11 分	約 13 分
	HD	約 15 分	約 22 分	約 33 分
	D1	約 33 分	約 42 分	約 53 分
32GB	FullHD	約 18 分	約 22 分	約 26 分
	HD	約 30 分	約 45 分	約 65 分
	D1	約 65 分	約 85 分	約 106 分
64GB	FullHD	約 36 分	約 45 分	約 53 分
	HD	約 60 分	約 89 分	約 130 分
	D1	約 130 分	約 169 分	約 212 分

■パーキングモードのmicroSDカード別最大録画時間

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 144 分
16GB	約 291 分
32GB	約 584 分
64GB	約 1170 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

microSDカードのデータについて

- イベント録画フォルダ (EVENT) *microSDカード全体容量の15%を使用
イベントが発生した動画、またはクイック録画機能で録画した動画を保存します。
1: 車外/車内カメラ映像
2: 別体カメラ映像
- 常時録画フォルダ (INFINITE) *microSDカード全体容量の80%を使用
常時録画された1分間の動画 (パーキングモード時は画像モード設定により録画時間が変動します。)、またはパーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
1: 車外/車内カメラ映像
2: 別体カメラ映像
- 撮影フォルダ (CAPTURE) *microSDカード全体容量の3%を使用
キャプチャーした画像を保存します。
1: 車外/車内カメラ映像
2: 別体カメラ映像
- その他 *microSDカード全体容量の2%を使用

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。（保証期間に関わらず原則的に交換対応はございません）

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）
https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったらを参考に故障かどうかをご確認ください。【➡P50】
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。
- 3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。
- * 修理期間中の代替機の貸し出しはございません。あらかじめご了承ください。

■ 修理の流れ

- 1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

☎ 0570-006867（ナビダイヤル）

☎ 0120-75-6867（フリーダイヤル）

〔受付時間〕 9：00～18：00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

- 2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしかねますので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報には次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：CS-361FHT

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX 番号：			
日中で連絡可能な電話番号：□□□□□□□□ □ 携帯電話 □ □ 勤務先 □ □ その他（ ）			
ご購入日：	microSDカードのデータなどの消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。		
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。ご署名		
①.....	お見積り連絡：□ 不要 / □ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡		
②.....	※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。		
③.....	具体的な症状：□ 常に発生する □ 時々発生する □ 特定の条件で発生する		
④.....	できるだけ詳しくご記入ください。		
⑤.....			
⑥.....			
⑦.....			
⑧.....			
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票も併せてご記入ください。【→P55】

製品名：CS-361FHT	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	
	

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご利用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしかねますので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス

[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)



0570-006867 (ナビダイヤル)

☎ 0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)

TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

- 北海道地区 札幌営業所
〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 北関東・新潟地区 水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420
- 関東地区 本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

- 東海・北陸地区 名古屋営業所
〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737
- 関西・中国・四国地区 大阪支店
〒562-0004 大阪府真面目市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州・沖縄地区 福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>



セルスター工業株式会社